

【理学療法学科担任報告】

1年生 (担任：小橋)

夏期休業があけ、4ヶ月あまりが経ちました。授業では、前期の解剖学（人体の構造）に加え、生理学（身体の機能）や運動学（身体運動の基礎）といった専門領域かつ理学療法士としてすべての基礎となる重要な科目も開講しており、学びがどんどん進んできました。

専門的な内容や覚えることの多さに、勉強に対する不安の声を耳にすることが増えています。相談を受け、空き時間を利用して一緒に勉強方法を見直すなどの個別対応も始めています。

私も全力でサポートしていきますので、諦めずに根気強く取り組んでほしいと思います。

2年生 (担任：富永)

入学からすぐにコロナ禍で自粛や制限の多い中、落ち着いて勉強に集中できない状況もあったと思いますが、みんなで乗り越えてきました。

2年次は専門的な知識や実践的な技術を学び、日々学ぶことの多さに困惑している様子もみられますが、日々頑張っています。2年生の学生生活も残すところあと4か月弱となり、2月には初めての臨床実習が始まります。初めての实習に挑むにあたり、不安になることもあると思いますが、クラスみんなで助け合いながら準備や学習を進めて欲しいと思っています。

3年生 (担任：北村)

3年生は10月24日から12月17日までの8週間、2度目の臨床実習に臨みました。

この実習は、病院・老人保健施設にて患者様・利用者様の治療まで経験させていただき実習で、コロナ禍の中、何とか実施に至りほっとしております。実習地は道内さまざまな地域にわたりました。それぞれが、前回の実習の経験を踏まえて十分な準備をした上で臨みました。

コロナのために、途中、一時中断を余儀なくされたとか、また気候の変わり目で体調を崩す学生もいましたが、何とか最後まで乗り切ってくれました。今回の貴重な経験を今後の学びにどのように活かしてくれるのかとても楽しみにしています。

4年生 (担任：菊川)

10月末に臨床実習が終わり、現在は国家試験に向けて日々勉強に励んでおります。

臨床実習ではコロナ禍で病院側も大変な中、学生を受け入れていただき全員が臨床現場で実習を行え、理学療法士になるための必要な知識を多く学び、成長して戻ってきました。

国家試験まで残り2ヶ月くらいしかなく、多少不安を訴える学生もおりますが、グループワークを通じてお互いを助け合いながら頑張っております。

今後は勉強ばかりで大変かもしれませんが、国家試験全員合格を目指し、笑顔で卒業できるよう充実した学生生活を送っていただきたいと思います。

【作業療法学科担任報告】

1年生 (担任：西館)

入学して9ヶ月以上が経過しています。解剖学などの基礎知識だけではなく将来医療業界で働くための基礎的な態度などの学びに少しずつではありますが、努力をしてくれています。またクラス内のチームワークも良好で様々なことを楽しみながら取り組んでくれています。また、現在はレポート課題にも慣れてきている反面、課題が重複した際などにセルフマネジメント(課題を先送りせず時間をつくりやれるときにやる)の重要性も理解しつつあるように思います。引き続き個々の様子をしっかりとみながら支援していきたいと思っています。

2年生 (担任：川上)

9月末に1週間の見学臨床実習を終了し、学校に戻ってきた学生の成長を感じています。

各施設の実習指導者からも主体性や能動性を感じる学生であったと高評価を得ています。

2学年の後期授業は4年間の中でも最もタイトであり、レポート課題など計画的な取り組みが必要となります。健康に留意して頑張ってください。

3年生 (担任：鈴木)

現在総合臨床実習Ⅰ期に行っております。評価臨床実習終了後、総合臨床実習Ⅰ期に向けて事例報告書の振り返りや、事例検討や実技試験に向けた準備を行ってきました。これまで学習してきたことがそれぞれの実習に活かされ、今後どんどん成長して帰ってくることを願っています。

4年生 (担任：三浦)

現在4年生は最終関門である国家試験合格に向けて絶賛格闘中です。10月より開始した国家試験対策ですが、開始当初は座り続けることや解き続けること自体に苦戦していたようですが、最近では声をかけるまで勉強を止めようとしません(すいません言い過ぎました…)。

また、勉強と同時進行で就職活動も開始しており、いよいよ自身の遠くない働く姿も想像しながらより集中力も高まってきているのではないのでしょうか。

【看護学科担任報告】

1年生 (担任：坂井)

早いもので今年も終わりに近づいてきました。入学当初から目指していることは、定期試験で赤点をとらないこと、1年生が終わるまでに看護師国家試験の必修問題を7割以上とることです。

生活面においては、遅刻をしない、コロナ禍でもありますので、体調管理をしっかりするように心がけています。また、掃除をはじめ整理整頓をし、自分たちの学習環境を整えています。定期試験前には、学生たちが協力して試験対策をしています。

また国家試験対策としては、授業に関連する内容の問題を1日4問ずつ出題し解いています。

前期が終わり赤点は例年の半分以下にすることができました。後期は赤点ゼロを目指していこうと思っています。

先日、看護を誓う式(戴帽式)が挙行されました。全員欠席することなく参加しました。やわらかなロウソクの灯に包まれ、看護師を目指す者としての決意を新たにしたところです。

2年生 (担任：谷)

看護学科2年生の担任をしております谷真弓と申します。担任となって半年が過ぎましたが、時間が過ぎるのはあっという間であり、視覚的に表現するならば、ドラえもののひみつ道具であった「タイムライト」を使用したときの表現がぴったりあてはまるのではと考えております。

さて、看護学生の2年生が一番戦わなくてはならないのは「中だるみ」という課題です。夏季休業に入る前、「基礎看護学実習Ⅱ」という臨床実習を経験することが2年生の第一関門と言えます。患者さんを受け持たせて頂き、実施をすることでその「たるみ」を一旦締めなおすという意味も持ち合わせている実習ではないかと感じます。

2年生は二十歳になる学年でもあります(該当しない方すみません)。精神的に大人になるとはどういうことなのかを考える時期です。意外と世界は自分を中心に回っていないことが分かってきます。自分の行いは自分の責任であること、うまくいかない原因を外に求めないこと、他者からのアドバイスを素直に受け入れること。与えられた役割を行わなければ、その程度の人間であるとして見られます。嫌だ、面倒くさいと思う時でも自分が率先してやる。学業にどのような姿勢で取り組んだかはいつか自分に全て返ってきます。

今のところタイムマシンはなく、後悔して過去に戻りたくなくても戻れません。そう考えると、時間の大切さが実感できるのではないのでしょうか。

3年生 (担任：宗像)

看護学科3年生は、長かった実習を無事終えることができました。総まとめとなる統合実習では、今まで学んだ知識や技術、～課題に向き合う実習であり、1・2年生の頃とは違い、看護師となる自覚を胸にキリっとした表情で取り組む姿に頼もしさを感じるようになりました。いよいよ12月も下旬になりますので、これからは国家試験全員合格に向けクラスで取り組んでいく予定です。温かく見守っていただけると嬉しく思います。